



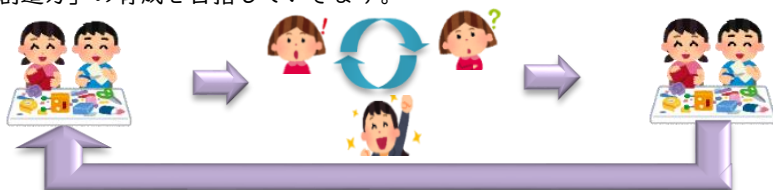
小学校	図画工作科	低、中、高学年
-----	-------	---------

創造力を育成する造形遊びの授業 ～「題材構想シート」の活用～

【造形遊びについて】

★「造形遊びをする」とは？

材料や場所、空間などに関わり、思い付くままに活動をつくったり、自分で目的を見付けて発展させたりする学習です。単に遊ばせることが目的ではなく、児童が活動をつくる過程そのものを楽しむ中で、「つくり、つくりかえ、つくる」という学びの過程を経験し、「創造力」の育成を目指していきます。



児童が夢中になって活動をつくりだすためには、事前の授業計画が非常に重要です。児童の興味を引く材料や場所、空間の設定、他の児童との関わりが生まれる環境の整備、自分の活動のよさや変容に気付くための振り返りの仕組み等を考える必要があります。さらに、教師が〔共通事項〕の視点を捉えた上で、児童の思考や活動を見取ったり、児童に言葉かけをしたりすることで、児童の気付きが深まり、造形活動の質が高まります。「題材構想シート」は、教師が造形遊びの授業計画をする際の支援となります。活用してみてください！

【題材構想シート】

題材名・題材の目標	本題材での目標を明確にし、題材名を工夫する。 (例) 題材名「線で広がるカラフルワールド」
〔共通事項〕の視点	活動中、児童に気付かせたい主な造形的な特徴について児童の実態や学年に応じて具体的に設定する。
ねらいとする造形的活動	児童の具体的な活動の姿を予想する。 (例) 並べる、つなぐ、組み合わせる 等
予想される児童の活動	材料や場所、空間から児童の活動を具体的に予想する。 (例) スズランテープ®→線と線を結ぶ
指導の手立て	指導のための発問・準備物・しかけを明確にする。 (例) しかけ(工夫)→天井にひもを設置する。

【安全指導について】

児童がのびのびと活動に取り組むためには、徹底した安全指導が必要不可欠です。

- ・ 学習のルール作り
- ・ 活動範囲を示すこと
- ・ 材料や場所について事前の安全点検

